

ベトナム小売業、2025 年に向け成長加速へ

2025 年 2 月 20 日 作成

カテゴリ ベトナム市場調査 日用消費・小売

ベトナム小売業、2025 年に向け成長加速へ

ベトナムの小売業は 2025 年に向けて回復と成長が期待されている。統計によると、2024 年の小売売上とサービス収益は約 5.8 兆 VND（約 36 兆円）に達し、前年比 8.8%増加した。電子商取引（EC）は成長を続け、小売市場の約 20%を占めている。WinMart などの大手小売企業は店舗数を拡大し、新たな販売戦略を導入している。また、多くの企業が多様な販売チャネルを活用し、物流やサプライチェーンの強化にも注力している。

2025 年のベトナムの小売市場は 10～10.5%の成長が予測されており、経済回復と所得増加が購買力を押し上げると見られている。特に中間層の増加が消費市場を活性化させる要因となる。今後の小売業界のトレンドとしては、持続可能な経営、顧客体験の向上、新商品開発の 3 つが挙げられる。EC の発展と消費者行動の変化が市場構造を再編する中、ベトナム企業はデジタル化やオムニチャネル戦略の強化に取り組む必要がある。

ベトナム消費者は 2025 年に向けて必需品や健康関連商品を優先する傾向が強まり、小売業者はそれに応じた戦略を構築することが求められる。また、外国製の安価な商品が市場を圧迫する中、競争力を維持するためには製造業者と直接協力し、コスト削減や品質向上を図ることが重要である。さらに、人材の育成も業界全体の発展に不可欠であり、小売業界は今後、労働力の質を高めるための取り組みを強化する必要がある。

2024 年には、小売業の近代化が加速し、伝統的な販売手法の割合が減少した。大都市では近代的な小売業が市場の 30%を占めるようになり、全国的にもこの傾向が進むと予想される。業界はデジタル技術の活用をさらに進め、変化する消費者のニーズに迅速に対応することが求められる。

以上